

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	日本語学科(昼間部1. 5年制)		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	漢字・語彙(中上級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	501教室
担 当 教 員	山上 直子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
日本語能力試験N3の漢字を復習しながら、N2レベルの漢字語彙を習得する。日本語能力試験は選択問題だが、将来日本での就職を考え、自分で使える、表現できる力を身につける。N2では形容詞や副詞がポイントとなり、日常生活でも必要な語彙も多く出てくる。漢字は授業では、ポイント(日中の漢字の違いなど)のみを扱い、書いて覚えるのは自学自習とする。毎週確認テストを実施する。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:70% 2. 宿題提出:20% 3. チェックテスト:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「日本語総まとめN2漢字」スリーエーネットワーク 「日本語総まとめN2語彙」スリーエーネットワーク 「目で見える体のメカニズム」医学書院						
《授業外における学習方法》						
予習復習を課す。授業の最初には前回の内容をどの程度理解しているかのチェックテストを実施する。 漢字は毎週、課題を出す。						
《履修に当たっての留意点》						
中上級から上級になると語彙の量が急に増えます。丁寧に復習をして覚えましょう。						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	漢字 日常生活で見る漢字が理解できる(1)-1 語彙 暮らしに関係がある語彙を身につける。	使用教材から適宜抜粋	予習復習を課す。授業の最初には前回の内容の理解度のチェックテストを実施する。漢字は毎週、課題を出す。	
		各コマにおける授業予定	日本語能力試験対策(1) 漢字 立て札、注意書き、建物の内外の表示 語彙 暮らす(1)アパートを探す、引越し			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	漢字 日常生活で見る漢字が理解できる(1)-2 語彙 暮らす(2)	使用教材から適宜抜粋	予習復習を課す。授業の最初には前回の内容の理解度のチェックテストを実施する。漢字は毎週、課題を出す。	
		各コマにおける授業予定	日本語能力試験対策(2) 漢字 駅、乗り物、郵便局、病院 語彙 家事、夏期休暇(海で)、銀行			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	漢字 日常生活で使う機器の使い方がわかる(1)-1 語彙 仕事(1)	使用教材から適宜抜粋	予習復習を課す。授業の最初には前回の内容の理解度のチェックテストを実施する。漢字は毎週、課題を出す。	
		各コマにおける授業予定	日本語能力試験対策(3) 漢字 自販機、自動券売機など 語彙 仕事を探す、仕事をする			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	漢字 日常生活で使う機器の使い方がわかる(1)-2 語彙 仕事(2)	使用教材から適宜抜粋	予習復習を課す。授業の最初には前回の内容の理解度のチェックテストを実施する。漢字は毎週、課題を出す。	
		各コマにおける授業予定	日本語能力試験対策(4) 漢字 リモコン、電話、パソコンなど 語彙 パソコンを使う			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	漢字 日常生活で読む資料がわかる(1) 語彙 形容詞	使用教材から適宜抜粋	予習復習を課す。授業の最初には前回の内容の理解度のチェックテストを実施する。漢字は毎週、課題を出す。	
		各コマにおける授業予定	日本語能力試験対策(5) 漢字 料金通知、払込用紙、不在通知など 語彙 形容詞を使って表現方法を増やそう			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	漢字 日常生活で読む資料がわかる(2) 語彙 気持、態度	使用教材から適宜抜粋	予習復習を課す。授業の最初には前回の内容の理解度のチェックテストを実施する。漢字は毎週、課題を出す。
		各コマにおける授業予定	日本語能力試験対策(6) 漢字 ゴミの分別、いろいろな通知 語彙 体の具合、体の言葉		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	漢字 日常生活で必要な書類が書ける(1) 語彙 副詞(1)	使用教材から適宜抜粋	予習復習を課す。授業の最初には前回の内容の理解度のチェックテストを実施する。漢字は毎週、課題を出す。
		各コマにおける授業予定	日本語能力試験対策(7) 漢字 伝票、申込書、メール、はがき 副詞 数字、量、時に関係がある言葉		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	漢字 日常生活で必要な書類が書ける(2) 語彙 副詞(2)	使用教材から適宜抜粋	予習復習を課す。授業の最初には前回の内容の理解度のチェックテストを実施する。漢字は毎週、課題を出す。
		各コマにおける授業予定	日本語能力試験対策(8) 漢字 ビジネスメール、答案用紙、作文など 語彙 程度を表す言葉、決まった言葉が後に来る言葉		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	漢字 日常生活で使うマニュアルが読める(1)-1 語彙 易しい漢字で書く言葉(1)	使用教材から適宜抜粋	予習復習を課す。授業の最初には前回の内容の理解度のチェックテストを実施する。漢字は毎週、課題を出す。
		各コマにおける授業予定	日本語能力試験対策(9) 漢字 家庭用品(ポット、ヒーター、洗剤など) 漢字 物、日、年、大、中など		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	漢字 日常生活で使うもののマニュアルが読める(1)-2 語彙 易しい漢字で書く言葉(2)	使用教材から適宜抜粋	予習復習を課す。授業の最初には前回の内容の理解度のチェックテストを実施する。漢字は毎週、課題を出す。
		各コマにおける授業予定	日本語能力試験対策(10) 漢字 家庭用品(薬、食品、インターホンなど) 語彙 地、手、本		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	漢字 日常生活で見る漢字が読める(2)-1 語彙 カタカナ	使用教材から適宜抜粋	予習復習を課す。授業の最初には前回の内容の理解度のチェックテストを実施する。漢字は毎週、課題を出す。
		各コマにおける授業予定	日本語能力試験対策(11) 漢字 広告、チラシ、折り込み広告、広告など 語彙 カタカナ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	漢字 日常生活で見る漢字が読める(2)-2 語彙 似ている言葉(1)	使用教材から適宜抜粋	予習復習を課す。授業の最初には前回の内容の理解度のチェックテストを実施する。漢字は毎週、課題を出す。
		各コマにおける授業予定	日本語能力試験対策(12) 漢字 地図、文化財、展示など 語彙 意味が似ている言葉		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	漢字 日常生活で見る資料が読める(2) 語彙 似ている言葉	使用教材から適宜抜粋	予習復習を課す。授業の最初には前回の内容の理解度のチェックテストを実施する。漢字は毎週、課題を出す。
		各コマにおける授業予定	日本語能力試験対策(13) 漢字 求人・募集、掲示板、地域新聞、メニューなど 語彙 発音が似ている言葉		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	漢字 日常生活で見る資料が読める(2) 語彙 意味がたくさんある言葉(1)	使用教材から適宜抜粋	予習復習を課す。授業の最初には前回の内容の理解度のチェックテストを実施する。漢字は毎週、課題を出す。
		各コマにおける授業予定	日本語能力試験対策(14) 漢字 受験案内、交通情報、気象情報 語彙 動詞、い形容詞		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	漢字 新聞の見出しがよめる(1) 語彙 語形成の言葉が理解できる	使用教材から適宜抜粋	予習復習を課す。授業の最初には前回の内容の理解度のチェックテストを実施する。漢字は毎週、課題を出す。
		各コマにおける授業予定	日本語能力試験対策(15) 漢字 速報、新聞の見出し 語彙 言葉の前につく語、言葉の後ろにつく語		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	日本語学科(昼間部1. 5年制)		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	漢字・語彙(中上級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	501教室
担 当 教 員	山上 直子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
日本語能力試験N3の漢字を復習しながら、N2レベルの漢字語彙を習得する。日本語能力試験は選択問題だが、将来日本での就職を考え、自分で使える、表現できる力を身につける。N2では形容詞や副詞がポイントとなり、日常生活でも必要な語彙も多く出てくる。漢字は授業では、ポイント(日中の漢字の違いなど)のみを扱い、書いて覚えるのは自学自習とする。毎週確認テストを実施する。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:70% 2. 宿題提出:20% 3. チェックテスト:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「日本語総まとめN2漢字」スリーエーネットワーク 「日本語総まとめN2語彙」スリーエーネットワーク 「目で見える体のメカニズム」医学書院						
《授業外における学習方法》						
予習復習を課す。授業の最初には前回の内容をどの程度理解しているかのチェックテストを実施する。 漢字は毎週、課題を出す。						
《履修に当たっての留意点》						
中上級から上級になると語彙の量が急に増えます。丁寧に復習をして覚えましょう。						
授業の 方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義形式	授業を通じての到達目標	漢字 新聞の見出しが読める(1) 語彙 語形成の言葉が理解できる	使用教材から適宜抜粋	予習復習を課す。授業の最初には前回の内容の理解度のチェックテストを実施する。漢字は毎週、課題を出す。	
		各コマにおける授業予定	日本語能力試験対策(16) 漢字 速報、新聞の見出し 語彙 言葉の後ろにつく語(2)			
第 17 回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職後に必要な語彙を修得する(1)	「目で見える体のメカニズム」医学書院から適宜抜粋	語彙の復習	
		各コマにおける授業予定	工学系の語彙をまとめて覚える			
第 18 回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職後に必要な語彙を修得する(2)	「目で見える体のメカニズム」医学書院から適宜抜粋	語彙の復習	
		各コマにおける授業予定	工学系の語彙をまとめて覚える			
第 19 回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職後に必要な語彙を修得する(3)	「目で見える体のメカニズム」医学書院から適宜抜粋	語彙の復習	
		各コマにおける授業予定	工学系の語彙をまとめて覚える			
第 20 回	講義形式	授業を通じての到達目標	理解度を確認する			
		各コマにおける授業予定	総まとめ			